

湘南ペガサス 40 周年に寄せて

ペガサス 60 小石 巖

2009 年からお世話になり、早いもので今年で 11 年目になりました。
まずは 50 で 4 年間プレーしましたが、毎年横須賀と優勝争いが出来るほどの強いチームで楽しかった思い出があります。
特に記憶に残っているのは全国シニアの県代表決定戦で勝てば関東大会という大事な試合に負けて、各県の 2 位チームで行われる関東シニア大会で雪の降る保土ヶ谷球技場で千葉や埼玉のチームと試合が出来ましたが、やはり関東大会に出たかった悔しさが残りました。

50 代も半ばになると FW としてのスピードが落ちてきたので、2013 年から 55 に移籍して連絡係や監督を経験させて貰いました。
その間、大学サッカー部の後輩らやメンバーの友人らをチームに加入して貰いチーム力の向上ができ、2016 年のシーズンでは 2 部で 2 位という戦績を残し初めて 1 部昇格という快挙となりました。
監督をするのは初めてで、ペガサスの基本方針である全員出場と勝利という二兎を追う難しさはありましたが、毎試合前日までに連絡係や主将とメールで戦術、戦略の意見交換をして試合に臨み、試合後のミーティングでは全員に発言して貰いチーム内のコミュニケーションレベルを高く保つことができました。
50 才を過ぎて新しい友達を作るのは難しいと言われますが、このチームのメンバーとは苦楽を共にしたという体験を共有ができたので、今後も繋がって行けるとおもいます。
とにかく飲み会の機会が多かったです、笑。

還暦を迎えて 60 のチームに移籍し現在 2 年目で連絡係をしています、何とか 1 部復帰が出来るようにプレーヤーとして頑張っています。
50、55、60 と 3 チームでプレーして感じることは、ペガサスという伝統ある立派な組織があるのでシニアサッカーライフをエンジョイ出来る環境には感謝しかないということです。
70 才以上の先輩方も頑張っておられるので我々の目標になっています。
今後もペガサスでシニアサッカーライフを楽しみたいと思います。